



▲横一列に並んで田植えをされました(桜谷小学校)

泥の感触を体験

町内各小学校で田んぼの子体験事業

今年も町内の各小学校で、児童が農業に触れ合う田んぼの子体験事業が行われました。どの学校でも地域の方が先生になり、苗の植え方やお米ができるまでを児童に教えておられました。

桜谷小学校ではHOTTけん桜谷隊と保護者の皆さんの協力のもと、近くの田んぼで田植えを体験されました。児童の皆さんは田んぼの中に裸足で入ると「ぬるぬるする」「足が沈んでいく」と土の感触に驚きながら苗束を持ち、丁寧に植えていました。

子ども達にとって快適な居場所を

第二わらべ保育園竣工、町立保育所こばと園起工式

園舎は、11月下旬ごろに完成する見込みです。



▲こばと園の起工式

また、5月30日(金)には、町立保育所こばと園の改築工事起工式が行われました。改築され新しくなるこばと園も木造で、保育室や遊戯室のスペースを広く設け、子ども達のびのび過ごすことができる環境を整えます。園舎が完成すると、こばと園には今より多くの子ども達も通園する予定で、園舎は、

5月27日(火)、第二わらべ保育園の開園・竣工式が行われました。

第二わらべ保育園は、現在0歳児から5歳児まで、約60名の子ども達が通園しています。完成した園舎は木の温もりにあふれ、保護者や地域の方が子ども達とふれあえる部屋があるなどの工夫がなされています。



▲完成した第二わらべ保育園の園舎

災害時、物資で応援

(株)平和堂と災害時物品調達の協定書

5月29日(木)、株式会社平和堂と日野町が災害救助に必要な物資の調達に関する協定書を交わす調印式が行われました。

協定書では災害発生時において援助に必要な物資を町が要請できることとしています。町では、現在まで4団体と協定を結んでいますが、物資調達にかかる協定を結ぶのは初めてです。

木村正人常務取締役は「地域の住民の皆さんの安全安心に貢献できることは平和堂としてもありがたいことです」と話してくださいました。



▲協定書を交わす木村常務取締役(写真左)と藤澤町長



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当
☎6550(役場1階・町長懇談室)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!



▲国道307号沿いを中心にごみを回収してくださいました

皆さんの手でごみのない町に 日野町ごみゼロ大作戦

5月30日は、滋賀県ごみの散乱防止に関する条例に基づく環境美化の日です。
この日にちなみ、6月1日(日)、国道307号沿いを中心に日野町ごみゼロ大作戦を実施しました。
日差しが照りつける暑い日でしたが、81名の参加者が3つのグループに分かれ、ごみを回収されました。皆さんは、タバコの吸い殻など小さいごみも見逃さず、150kgものごみを回収してくださいました。
各自治会や団体などでも、こつした取り組みが実施され、皆さんの手でごみのない美しい町が保たれています。

全国植樹祭で賞を受ける 「ふるさと日野の森林を育てる会」が受賞

6月1日(日)、新潟県で開催された第65回全国植樹祭において、南比都佐小学校で活動されている「ふるさと日野の森林を育てる会」(浦田和栄会長)の皆さんが協力賞(ノーストップ賞)を受賞されました。
ふるさと日野の森林を育てる会の皆さんは、南比都佐小学校で平成20年度から、学校林の整備や学校林を活用した体験学習の指導に関わっておられます。体験学習では、樹木や木の葉の種類を学んだり、聴診器で水の吸い上げる音を聴いたり、草木を使った作品をつくるなど、さまざまな場面で学習の支援をされています。
ふるさと日野の森林を育てる会の皆さん受賞おめでとうございます。



▲学校林を活用した体験学習

幸せを運ぶコウノトリが飛来

南比都佐地域で確認される

5月から6月にかけて日野町の南比都佐地域にコウノトリが飛来しました。
コウノトリは国の特別天然記念物に指定されており、両翼を広げると2mにもなり、世界的にも希少な鳥です。
飛来したコウノトリはメスで兵庫県のコウノトリの郷公園で放鳥されているうちの1羽です。5月末から2〜3週間、南比都佐地域に滞在していたようで、別所・清田など地域のいたるところで見られたそうです。
藤澤義晃さんは「他の鳥に比べとても大きな鳥で、わっさわっさという感じで飛んでいました」と見つけた時の感動をお話してくださいました。



▲田んぼでえさを食べるコウノトリ
(福本勝さん撮影)



南比都佐地域に訪れたコウノトリ
(藤澤義晃さん撮影)